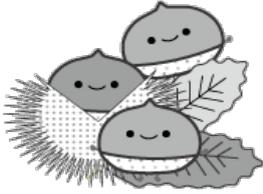


# クレジットカード納税導入の検討を提言！

24時間どこにいても納税できる

→ 忙しくても家や会社のPCから納税可能！

納付期限内の納付が増える



分割納税が可能

→ 家計にやさしい分割払い

新たな導入費用は小額？

督促状等の発送に係る事務量削減

→ 全体の18.25%に督促状を発送している現状の改善を

平成18年の地方自治法の改正により、クレジットカードを利用した地方税の支払いが法的に可能になりました。川越市では昨年度からコンビニエンス・ストア納税が本格実施されましたが、クレジットカード納税については検討が進まず、社会的状況の変化と共に導入検討する自治体が増える中、川越市でも本格的な検討をしていくべきと提言しました。

クレジットカード納税は納付額の1%の手数料がかかることが大きなデメリットでしたが、市の負担額を一定にし、納税者に一部の負担を

求める方法が広がっています(カードのポイントも貯まり、手間隙や交通費を考えたら一部を負担してもよいと考える人も多いようです)。

川越市は既にコンビニ納税を導入しており、システム改修が必要ないことから150万円～700万円程度の経費で導入できる可能性があります。私からの問に対し、納税者の利便性の向上や期限内納付が促進されることなど一定の効果があるとして、検討していきたいとの考えを示しました。



# 環境推進員制度の改善を提言！

## かわごえ環境推進員制度とは

平成14年に発足した制度で、廃棄物の減量・資源化の推進、廃棄物の適正処理、及び地域の環境美化活動等を地域のリーダーとして行うことで地域づくりを推進し、市と地域を結ぶ重要な役割を担うことを役割として期待された組織です。(現在869名)

## 10年間改善されぬ問題点

環境推進員という言葉は初めて聞いたという方もいらっしゃると思いますが、最も大きな問題点は、各推進員の活動に差があることです。各自治会長からの推薦を受けて市長が任命するシステムとなっており、「順番でしゅしゅ引き受ける」という場合も少なくなく、必ずやらなければいけない仕事が具体的に示されていないこともあって「やる人はやるやらない人はやらない」という傾向が生まれやすい環境があります。市はこれを認識しながら改善できず、10年がたちました。多少なりとも報酬を出している以上、最低限の仕事を求めるのは当然です。

## 869人は大きなマンパワー！

環境推進員は地域のリーダーとしての役割を求められていますが、現状は、自治会のイベント時のゴミ担当、ごみゼロの日のビニール袋とポケットティッシュ配布係りなどということも少なくなく、このことが「環境推進員ってな～に？」という市民の認識に繋がっているのではないのでしょうか。

そして、外部評価等でもこうした指摘を受け、3度の報酬減額を行っています。しかし、これは根本的な問題解決には繋がらない方法です。

私は、今後も市が環境推進員にこれまでと同じ役割を求めていくことを確認した上で、主に以下の提案をしました。

①、これだけはやってほしい項目を明示する。

②、年間計画書の提出を求める。

(年度末には報告書にも使用できる書式に。)

③、研修の改善と活動PRの充実。

市は、効果的との認識を示し、今後検討したいと答えました。

